2020年

発行:あしや しみんのこえ (中村 亮介) 芦屋市精道町7番6号

ASHIYASHIMI NO

目次

これからのあしやのまちづくりの視点について 1JR 芦屋駅南地区再開発事業と補助金について (JR芦屋駅南地区再開発調査特別委員会8月31日月曜日) ②6月本会議 一般質問質疑応答 6月17日水曜日

市内小学校に配置されたサーモグラフィについて 3子どもたちの心のケアについて

4 芦屋市新型コロナウイルス感染症対策本部での 決定事項に関する情報発信について

会派メンバー紹介

編集後記

これからのあしやのまちづくりの視点について

過去の政策決定により、継続的に予算が投じられ実施されていた事業に対して、市民にとって本当に必要な事業かどうか を今一度、立ち止まって考えなおし、必要な事業以外は行政の判断で、「やめる」もしくは「事業自体の規模を削減する」とい う政策決定ができれば、そのことにより捻出される予算を財源とし、JR芦屋駅南地区再開発事業、南芦屋浜周辺の活性化、 阪神打出駅を含む阪神電気鉄道の高架事業などの未来に向けた事業に投資していくことが可能となります。

行財政改革等による歳出削減も必要であると考えますが、行き過ぎれば市民に対する行政サービスの低下につながるお それもあります。

これからの行政には「新たな政策決定により事業を進めること」と「過去の政策決定により実施されてきた事業をやめる、 もしくは、事業自体の規模を削減すること」を同時に進めていくこと(トレード・オフの関係)により、予算を捻出していくこ

とが大切ではないでしょうか。

お隣りの西宮市は、ららぽーとや西宮ガーデンズ、エビスタのリニューアル、阪神鳴尾駅の高架事業に伴う周辺の再開発の進行、JR西宮駅南西にあ る市場の跡地周辺の高層マンションを含む再開発など、新たなまちづくりが着々と進んでいます。

これまでは「あしや」というだけで憧れを持っていただき、移り住んでいただけましたが、人口が減少し、少子高齢化が進行する中、自分のまちだけは 他のまちと違うことは極力避けたいという行政サイドの論理は通用しなくなり、近隣市と競争し、切磋琢磨することで、お互いのまちの魅力を高め あっていかなければいけないと考えます。

民間調査で住みたいまちとして常に上位だった「あしや」も、今は昔。<mark>行政も議会も何かに理由をつけて「お金がない」「将来が不安」などと必要以上に</mark> 騒ぎ立てず、慎重な財政運営だけではなく、将来のまちづくりを見据えて、移り住んでいただく人を増やし、より多くの住民税を納めていただき、さら に定住するために土地・住居を購入していただき、固定資産税を納めていただく。といった戦略的な財政運営を行い、もう一度選ばれるまちに生まれ変 わっていかなければいけません。

今こそ、ファミリー世代をターゲットにしたまちづくりを明確にするべきではないでしょうか。

人が増え、賑わいが増せば、住民税や固定資産税等の芦屋市の自前の税収は増え、ファミリー層だけではなく、全世代の皆様に対する行政サービスも 時代にあったより良いものを継続して提供することが可能になります。

みんなで力をあわせ、変化をおそれず、勇気をもって、これからの「あしや」を共につくっていきましょう。

もらえるようになったとお伺いしていたのですが、その具体的な理由は何でしょう

芦屋市議会議員 中村 亮介

た場合、 中村:例えば、

れよりも良い内示率で、

6割から7割の内示率でいただけると見込んでいました。令和2年度に関してはそ

国庫補助金の内示をいただけたということです。

に対して先程の内示率を乗じるわけですが、この**内示率の最近の傾向からすれば**

事業費に対して国からの補助率を乗じて算定された国庫補助金の上限額

70%=210万円いただける計算になり、令和2年度の内示率が9割くらいである が7割くらいだということであれば、 ける計算になります。 ということは、事業費600万円×補助率1/2×内示率9%=270万円い 600万の事業であれば、その補助率が2分の1だとして、 仮に、行政が一つの事業をし、国から補助金をいただくことになっ 事業費600万円×補助率1/2×内示率

内示率の平均

ただ

れるという理解でよろしいでしょうか。 だける補助金として見込んでいた額と実際いただける額が、当初見込みよりも多く から令和3年3月末までで、当初、JR芦屋駅南地区再開発事業に対して国からいた 中村:複数年度にまたがって事業が行われるわけですけれども、 いくために様々なメニューの申請をさせていただいているということになります。 使い、国から補助金という形で支援を受け、 ありますので、JR芦屋駅南地区再開発事業全体を見渡し、使える限りのメニューを 南地区再開発事業は認可をいただいております。 いくつかの事業が複合しているので、その1つ1つに対して、 の答弁:国から事業認可を頂かないと補助金をいただけないのですが、JR芦屋駅 市の負担額を軽減し、事業を遂行 。国の補助金にも様々なメニュー 国庫補助金が支給さ 令和2年4月1日

が

中村:イメージ的には再開発事業全体に対して補助金が支給されるわけではなく.

ています。 国からいただき、 が支給されるということになりますが、

100%が支給されるわけではなく、

支給されることになっています。これを内示率という言い方をし

通常、上限額に対して6割から8割の内示を

あくまでも3万円を上限とし、必ず上限額

わってまいります。

路にかかるところは2分の1であるとか、作るものによって国庫からの補助率は変

答弁:国庫補助率は2分の1のものもあれば、3分の1のものもあります。

例えば、90万円の事業に対する補助率が3分の1なら30万円を上限として補助金

すが、JR芦屋駅南地区再開発事業に対する国庫補助金は3分の1ですか。

中村:JR芦屋駅南地区再開発事業に対する国庫補助金について確認したいことがあ ります。再開発事業費合計額に対する国庫補助率は2分の1や3分の1がございま (JR芦屋駅南地区再開発調査特別委員会 8月31日月曜日 金につい て

R 芦 屋 駅 南地 X 一再開発事業と 補助

次に、 令和2年度補助金として国から交付される予定であったおよそ11億円が議

で理解しました。

そうすると差額の60万が国庫より通常より多くいただけるという所見になること

そのことについてお聞かせください。 そのことについてお聞かせください。

できる情報を持ち合わせておりません。のできる情報を持ち合わせておりません。かったケースというのは、あまり聞いたことがありませんので、いも関わらず、議会から予算を認められず交付申請ができな市の答弁:実際に国からの補助金として内示をいただいている。

でございます。 でございます。 ただ、以前からJR芦屋駅南地区再開発事業の必要性と今後をだ、以前からJR芦屋駅南地区再開発事業の必要性と今後



ございます。
でざいます。
こるかわからないというのが今、とても気にしているところでこるかわからないというのが今、とても気にしているところであて、交付申請しなければ、国との関係において今後、何が起めて、交付申請しなければ、補助金を交付すると決めた以上は芦屋は、国からしてみれば、補助金を交付すると決めた以上は芦屋は、国からしてみれば、補助金を交付すると決めた以上は芦屋は、議会で予算として認められず使えなくなりましたとなれるが、議会で予算として認められず使えなくなりましたとなれる。

すから。 皆さん、過去にこのような事態に直面した経験がないもので

配分する補助金もあります。 また、補助金の1つとして、芦屋市だけの補助ではない県が

をいただけるように東奔西走しているところでございます。といただけるように東奔西走しているところでございます。似たような事象が出てくるのかもしれません。それらも調べたでありまして、他の管内においては、過去の出来事を調べれば定はできない。これらは少なくとも近畿地方整備局管内での話定はできない。これらは少なくとも近畿地方整備局管内での話っただけるように東奔西走している社のところでございます。

そもそも前期の議会の議決を経て決められた計画に基づいたそもそも前期の議会の議決を経て決められた計画に基づいたと、必要以上に芦屋市民の税金で賄われているとは思いますが、もしこの事業を市わけです。建築資材の高騰、労務単価の上昇、コロナなどによ工事費があって、それにあわせて国に補助金の申請をしている工事費があって、それにあわせて国に補助金の申請をしている工事費があって、それにあわせて国に補助金の申請をしている工事費があって、それにあわせて国に補助金の申請をしている工事費があって、それにあわせて国に補助金の申請をしている工事費があって、それにあわせて国に補助金の申請をしている

捻出も必要だと主張してきました。 議会としても事業費の見直しによる減額や行革による財源の

させていきたいと考えております。

スはいいますのといっております。

スは、事業の遂行は厳しいと言わざるを得なくなります。
となり、事業の遂行は厳しいと言わざるを得なくなります。
となり、事業の遂行は厳しいと言わざるを得なくなります。
となり、事業の遂行は厳しいと言わざるを得なくなります。

2 市内小学校に配置されたサーモグラフィについ

の見解をお伺い致します。果と仮に問題点があればどのように改善していくべきなのか市果と仮に問題点があればどのように改善していくべきなのか市理を徹底する観点から、市内の各小学校、各中学校も含めてサーサが:新型コロナウイルス感染症対策として、こどもの体調管サが:新型コロナウイルス感染症対策として、こどもの体調管

つ配備したところでございます。 理を行えるよう、すべての市立小中学校に、5月19日に1台ず<mark>市の答弁</mark>:サーモグラフィにつきましては、児童生徒の体調管

課題としましては、気温の上昇に伴い、登校時には児童生徒り、感染防止と安全安心につながるものと考えております。モグラフィでの温度測定は二重チェックの役割を果たしてお児童生徒が登校する際には、ご家庭での検温をお願いし、サー

きるよう運用を工夫しているところでございます。の体表面温度が高く表示される場合があるため、正確に測定で課題としましては、気温の上昇に伴い、登校時には児童生徒

して体表面を測ることが可能でしょうか。という観点もあったと思いますが、どのくらいの生徒を対象に中村:実際に導入したサーモグラフィは、現場での密を避ける

名とかではなく、順次流れの中で見ていくという形になります。画面がスマートフォン程度でそれほど大きくないので、10数で読み取って、通過する時に少し停止することはあります。すが、一人ずつ通る度に温度と色が表示されます。一秒ぐらいすの答弁:子供たちが登校している共通の入口の前で測るので

:: 正確に測れていますか。

測れていなければ保健室で測るという対応をしています。家庭で体温を測ってきたカードとあわせてチェックし、正確になり高い場合につきましては、色が表示されますので、朝、ご市の答弁:教室に入る前にサーモグラフィで見て、体表面がか

仮にサーモグラフィが正確に体表面を測れていなかったと仮ジとは違うものだったので、今回質問させていただきました。感じはします。実際は、それよりもだいぶ小さな機器で、イメー空港であるようなものをイメージとして持ってしまったような空港であるようなものをイメージとして持ってしまったような・サイ:サーモグラフィの導入の際に、おそらく保護者の皆様も、中村:サーモグラフィの導入の際に、おそらく保護者の皆様も、

そういった体制はありますか。計でチェックを行うという体制があればいいと思うんですが、計でチェックを行うという体制があればいいと思うんですが、定した場合、様子がおかしいなというお子さんに対しては体温仮にサーモグラフィが正確に体表面を測れていなかったと仮

Rの答弁:その体制は取っております。

れも含めて対応しております。
非接触型の体温計も導入させていただいておりますので、そ

市の答弁:9月に各校に3本追加し、各校6本配備しておりま るという事ですが、現在各校に何本ずつありますでしょうか。 中村: 市立小学校においては非接触型の体温計が配備されてい

配備されていることも理解できました。 中村の想い:各公立小学校に1学年1本ずつ非接触の体温計が

深めながら、子供の体調管理を強化していただきますよう要望 していくかと思われますが、現場の先生と保護者がより連携を 非接触の体温計とサーモグラフィを組み合わせて今後、 使用

子どもたちの心のケアについ (6月本会議 一般質問質疑応答 6月17日水曜日)

3

中村:今から25年前に起こった阪神・淡路大震災の時も多くの としてどのような対策を講じようと考えているのかお伺い致し たちの「心のケア」の必要性は高まっていると思われます。市 波、第3波に備えなければならない状況で、学校再開後、子供 べないなどかなりのストレスを抱えていると思われます。第2 ルス感染症によって、学校に行きたくてもいけない、友達と遊 子供たちが心のケアを必要としました。今回の新型コロナウイ

生徒の状況把握に努めております。 で作成した「こころの健康チェックカード」を活用して、児童 日頃から児童生徒の様子を丁寧に確認すると共に、教育委員会 市の答弁:学校再開後の児童生徒の心のケアにつきましては、

養護教諭やスクールカウンセラーと連携して取り組んでおりま 気になる児童生徒については、担任一人で抱え込むことなく、

相談できる施設を紹介するなど、心のケアに努めてまいります。

また、保護者に対しては、児童生徒の様子を伝えるとともに

均何回何時間対応されているのか、相談体制についてお聞かせ をつけていただいているとの事ですが、市内の小学校に配置さ 中村:心の健康チェックと、養護教諭とスクールカウンセラー 願えますか。 れているスクールカウンセラーの現在の人数と一校当たり週平

(県も含めると6名配置) 答弁:芦屋市におきましては、5名の配置になっておりま

いています。 その5名の方々のうち、市立の小学校では2校で対応して頂

しております。 ただ拠点校と連携校という形になっており、県の施策で配置

> 中学校、小学校は宮川小学校・岩園小学校) (市立の拠点校は、中学校は精道中学校・潮見中学校・山手 拠点校は、月に3回行っていただいています。

学校、岩園小学校に朝日ヶ丘小学校) に潮見小学校、山手中学校に山手小学校、宮川小学校に精道小 連携校は、月に1回配置になっております。 (市立の連携校は、精道中学校に打出浜小学校、潮見中学校

れているスクールカウンセラーが月に1回来ていただいてい あと1校は、県立の拠点校で芦屋国際中等教育学校に配置さ 浜風小学校が連携校という状況です。

カウンセラーは配置されています。 カーは基本的に役割が違いまして、中学校においてもスクール 市の答弁:スクールカウンセラーとスクールソーシャルワー シャルワーカーの方がメインで配置されているのでしょうか。 ンセラーの方がメインで配備され、市立中学校はスクールソー 中村:市立の小学校では主に、臨床心理士であるスクールカウ

行っていただいております。 ておられる方で、いわゆるケース会議で様々な相談や対応を スクールソーシャルワーカーは、社会福祉士等の免許を持っ

クールソーシャルワーカーを派遣させたというお話をお伺いし 中村: 先日、市立の小学校に市立の中学校から4月と5月にス な問題解決に働きかけができるスクールカウンセラーを派遣さ ました。スクールカウンセラーの配置が不足しているので、様々



れたという認識でよろしいですか。

も相談の内容には入ってくるかもしませんが、メンタルヘルス 市の答弁:スクールカウンセラーは、心の問題や悩みを主に となってくるので入って頂いているので、心のケアという部分 の部分に関してはスクールカウンセラーを中心に動いて頂いて ワーカーは、様々な生徒の問題事案を担当し、横の連携も必要 談で対応して頂いている方です。一方で、スクールソーシャル

いてスクールソーシャルワーカーに入って頂いています。 メンタルヘルス以外の生徒指導事案も含めた大きな対応につ

と皆様努力されている中ですが、子供の受けたストレスという 中村:緊急事態宣言も明けて、徐々に社会活動が通常に戻ろう のは今後いろいろな局面で出てくると思います。

助けするスクールソーシャルワーカーも含め、配置体制は今の ままで十分だとお考えでしょうか。 今の芦屋市におけるスクールカウンセラーの配置、

校からのスクールカウンセラー1名の合計6名、問題事案での と思っております。 屋に配置されていますので、今のところ体制としては大丈夫だ サポートということでスクールソーシャルワーカーの2名が芦 芦屋市のスクールカウンセラー5名と県立芦屋国際中等教育学 市の答弁:昨年度の相談の件数から見ましても、現在のところ

中村の想い:スクールカウンセラーは主に臨床心理士の方が担 いをされている方と認識しています。 みならず学校関係者に対するコンサルテーションから多様な研 修機関への提案など多岐にわたりご活躍されているということ ルワーカーは、子供・保護者・先生に対するカウンセリングの 当され、心のケアをメインでされる一方で、スクールソーシャ で、学校における問題解決のためのネットワークを築くお手

が、体制については、引き続き配置人数が不足していれば追 配置するように現場できっちり意見を吸い上げて解決していた だきますよう要望致します。 これから心のケアという問題は表面上に出てくると思います

決定事項に関する情報発信につい 芦屋市新型コロナウイルス感染症対策本部での 6月本会議 一般質問質疑応答 6月17日水曜日

中村:芦屋市新型コロナウイルス感染症対策本部で決定された はないかとの多くのお声を頂きました。 情報が、必要とされている方に適時・適切に届いていないので

緊急事態宣言が発令される前の4月6日月曜日のことです

発信されました。

「ミマモルメ」は、学校に必要な情報を適時に各ご家庭にお「ミマモルメ」は、学校に必要な情報を適時に各ご家庭においました。一方で、ゴールデンウイーク明けの5月7日木曜日以降、た。一方で、ゴールデンウイーク明けの5月7日木曜日以降、た。一方で、ゴールデンウイーク明けの5月7日木曜日以降、た。一方で、ゴールデンウイーク明けの5月7日木曜日以降、たっ一次では、ボールデンウイーク前にスムーズに通じ、休校延長の連絡が欲しかったとの保護者の皆様の声を頂きました。

的ずれが当初はあったように思えます。マモルメ」やホームページ上での情報発信については少し時間マモルメ」やホームページ上での情報発信については少し時間懸案事項を解決するスピード感はあったように思えるが、「ミし、この間、新型コロナウイルス感染症対策本部で話し合われり、この間、新型コロナウイルス感染症対策本部で話し合われり、

そこで、私が取り上げた「ミマモルメ」での情報発信を例に、

校園長会を開催し、決定内容を伝達しております。
校園とも情報共有する必要があることから、ただちに事項の情報発信につきましては、対策本部会議において決定し事項の情報発信につきましては、対策本部会議において決定しか市の考えをお伺いいたします。
後、改善すべき点を挙げていただき、今後どう活かしていくのとれまでの情報発信について振り返り、良かったと思う点と今これまでの情報発信について振り返り、良かったと思う点と今

メール等により、情報発信を行っております。市及び学校園でのHPでの周知をはじめ、学校園からの連絡その内容について、保護者の皆様に速やかにお伝えするため、

情報発信に際しては、刻々と変わる状況の中において、一ル等により、情報発信を行っております。

玉

県や近隣市の状況を間際まで見極める必要があったことから、

非常に有効なものであると考えております。いち早くお伝えできる情報伝達ツールのひとつと考えており、関する情報をはじめ、学校園の情報について、保護者の皆様に学校園からの連絡メール等は、この度の学校園の臨時休業に直前となる場合もございました。

報発信に努めて参ります。必要とする情報について正確でわかりやすい表現での迅速な情必要とする情報について正確でわかりやすい表現での迅速な情の後も保護者の皆様において、混乱が生じることがないよう、

ポ遅れてしまうという理解でよろしいですか。 校園長会で情報共有し、決定されてからの発信なのでワンテン く迅速に情報発信されますが、学校園に関する特殊事情があり、 い上げてそのまま発信すれば決まった段階からタイムラグもな 中村:感染症対策本部で決定された情報をそのまま各部署が吸

> 会を開きます。 <mark>市の答弁</mark>:ご指摘の通り、学校園にお伝えするために、校園長

、タイムラグが発生します。そこで休業等についてのお知らせ等する必要がありましたの

う連絡を差し上げておりました。階ですでに文部科学省等の通知によって学校園を再開するとい格月7日からの臨時休校を決めた経過として、3月25日の段

がありましたので、その時点で教育委員会の中で協議をする必庫県を対象とする緊急事態宣言が発せられるだろうという情報から新規の感染者が増えたこと、全国的にも拡大していき、兵関係で、直前まで再開をする方向で協議を進めておりました。と、県立学校が8日から再開するという情報を得ておりました。この時点では市内での新規の感染者の増加が少なかったここの時点では市内での新規の感染者の増加が少なかったこ

たので、直前のお知らせになってしまいました。 最終的に4月7日から休校するまでの一連の経過がありまし要がありました。

中村・わかりました。

作業を行っていたのですね。いましたが、令和2年5月22日に作成し、今年6月12日に改訂いましたが、令和2年5月22日に作成し、今年6月12日に改訂いましたが、令和2年5月22日に作成し、今年6月12日に改訂

ですか。 ニュアル、この内容については、各ご家庭に周知はできてるん学校園における新型コロナウイルス感染症対策ポイントマ

と発信していただいている学校もあります。りに載せていただいている所もありますし、HPで載せているて各学校で感染予防に努めて参りますという内容を、学校だよでも周知しまして、各ご家庭にも、ポイントマニュアルに即し市の答弁:このポイントマニュアルにつきましては、校園長会市の答弁:このポイントマニュアルにつきましては、校園長会

れてまして、中村:感染症対策のポイントマニュアルは、5つの項目に分か

時の対応について二つ目は、学校園における新型コロナウイルス感染症患者発生一つ目は、新型コロナウイルス感染症を防ぐための注意事項

ヨン目は、教育活動における留意事項

五つ目は、保護者への注意喚起四つ目は、学校施設を活用して行う授業等について

か。 ものを作って配っていただけたらと思いますが、できないですものを作って配っていただけたらと思いますが、できないですアルを要約して保護者の皆様が手許に常に置いておけるような今後、第二波・第三波も想定されますので、こういったマニュ以上18ページにわたってまとめていただいております。

をかいてまいります。

という声も上がってこれば検討しなくてはいけないと思ってい<mark>市の答弁:</mark>必要に応じ、マニュアルを要約して配布して欲しい

国の様々な対応の中で、新型コロナウイルスだけでなく、季応していきたいと考えています。 ますが、現在のところこのままの対策ポイントマニュアルで対

は できる Jiving Control Control

適切に学校現場の情報が行き渡るよう要望致します。環境の変化に応じて柔軟に動いて頂いて、保護者の皆様に適時、中村の想い:今後も何が起こるか分からないので、その都度



編集後記

芦屋市新型コロナウイルス感染症対策本部によれば、5月4日に厚生労働省が公表した、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践例が定着するまでにはまだまだ時間を要し、定着した際の成果等を評価し、検証することは現時点では難しいとコメントしております。その上で、今後も引き続いて密閉、密集、密接の3密を

マスクの着用、消毒・換気の徹底など3つの基本

対策をしっかりと行っていただくよう市民に要請しています。 この秋冬には、新型コロナウイルス感染症と季節性のインフルエンザとが同 時並走する可能性も指摘されていますので、できる限り早い段階での季節性イ ンフルエンザワクチンの接種をお願いいたします。

新型コロナウイルス対策については、今後も息の長い取り組みが必要となります。 地域の皆様のお力をお借りしながら、新型コロナウイルスの収束へ向けて汗

芦屋市議会議員 中村 亮介